

坂本りよさん 満100歳顕彰式

東通村老部に在住の坂本りよさんは、10月9日で満100歳の誕生日を迎えられ、10月12日に自宅において、林春美副村長から長寿を称える顕彰状と100歳祝金(100万円)が贈られました。

贈呈の後、林副村長から「これからは『やしゃご』の誕生という楽しみもありますので、どうか家族や親戚の方々はこれまで以上に優しく見守りながらお世話していただきますようお願いし、今後も、家族共々明るく、楽しく過ごされ、日本を代表するような長寿になれますように」とお祝いの言葉がありました。

満100歳の顕彰制度は、平成6年に条例が制定され、以来、村では21人目となります。

坂本りよさんは、大正3年10月9日に老部に生まれ、老部の坂本市右衛門さんと結婚、6人の子宝に恵まれ、9人のお孫さんと11人の曾孫さんに恵まれました。

現在、坂本りよさんは、息子さん夫婦と楽しく過ごしており、今回の顕彰に際し、家族や親戚の方も訪れ、お祝いの言葉や花束などの祝福を受け、終始満面の笑顔でうなずいておりました。

これからも健康で長生きしてください。おめでとうございます。



戦争の悲しみを忘れず、恒久平和を願う ～平成26年度東通村戦没者追悼式～



戦争によって肉親を失った遺族の方々の心には、消えることのない深い傷跡が残り続けています。戦後に生きる私たちは、戦争の悲惨さ・悲しみを忘れることなく、平和が恒久的なものとなるよう努力し続けなければなりません。

9月24日、東通村体育館の山手(みはらしの丘)に建立されている戦没者慰霊碑を前に、平成26年度東通村戦没者追悼式が行なわれました。戦没者に対する黙祷が行なわれた後、越善靖夫村長に続き、来賓を代表して小笠原清春村議会議長、また、遺族を代表して小林義明遺族会長から、先の戦争の反省から世界の恒久平和を願う追悼の言葉が述べられました。そして、200余柱の英霊に対し、参列者から献花が捧げられました。



参列者の皆さんによる献花